

参考文献

- 理科年表：東京天文台編纂、丸善（2000）
- 放射線のやさしい知識：飯田博美、安斎育郎共編、オーム社（1999）
- 「原子力」図面集：（財）日本原子力文化振興財団（1999）
- －物理工学実験 15－X線回折・散乱技術：菊田惺志、東京大学出版会（1996）
- 新版単位の小辞典：海老原寛、講談社（1994）
- 新・放射線の人体への影響：日本保健物理学会、日本アイソトープ協会編集、丸善（1993）
- 放射線の応用－現状と今後の展望－：原子力工業、Vol.39、No.2（1993）、日刊工業新聞社
- 放射線保健学：（社）日本放射線技師会編、マグプロス出版（1991）
- 国際放射線防護委員会の2007年報告：（社）日本アイソトープ協会、丸善（2009）
- 改訂版・やさしい放射線とアイソトープ：（社）日本アイソトープ協会、丸善（1990）
- 放射線障害の防止に関する法令－概説と要点－：（社）日本アイソトープ協会、丸善（1989）
- 暮らしの放射線学：市川龍資、電力新報社（1988）
- からだのなかの放射能：安斎育郎、合同出版（1987）
- 理化学辞典：岩波書店（1983）
- 放射線データブック：村上悠紀夫、團野皓文、小林昌敏編、地人書館（1982）
- 原子核物理学・微視的物理学入門－共立物理学講座 21－：菊地健、共立出版（1979）
- ラジオアイソトープ－基礎原子力講座 3－：原澤進、コロナ社（1979）
- 原子核の世界－物質の究極を解明する－：森田正人、講談社（1977）

裏表紙の図の説明文

電磁カスケードシャワーモンテカルロ計算コード「EGS5」によるシミュレーション：右下の図は磁場中で運動する電子の様子をシミュレーションしたものです。この図の下側には銅が置いてあり、銅には上方に向かう8.5 MeVの電子（赤色の飛跡）が入射しています。入射点付近から発生している黄色の飛跡は銅の中で電子が発生した制動放射（光子）です。同図の左中央部分には2.6 kGの磁場がかけられており、それによって、電子が右方向へと曲げられ、ミリメートルの孔を通過しています。磁場がない場合には、左上の図のように電子は直進してしまい、ミリメートルの孔を通ることはできません。また、光子も、磁場の影響を受けないので、磁場の中をまっすぐに進みます。